



2022年11月2日

各位

セキ株式会社
 代表取締役社長 関 宏孝
 (STANDARD・コード 7857)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員経営管理本部長
 吉川 浩司
 TEL 089-945-0111

2023年3月期第2四半期業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日に公表しました2023年3月期（2022年4月1日より2023年3月31日まで）の第2四半期連結業績予想数値ならびに第2四半期個別業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、これを公表することにつきまして、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想と実績値の差異

- 2023年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値の差異
 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,221	△119	△47	△34	△8円16銭
実績値 (B)	5,352	35	128	146	35円12銭
増減額 (B-A)	131	154	175	180	—
増減率 (%)	2.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	5,156	△42	91	91	22円07銭

2. 2023年3月期第2四半期個別業績予想数値と実績値の差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,927	10	19	4円56銭
実績値 (B)	4,077	138	165	39円83銭
増減額 (B-A)	150	128	146	—
増減率 (%)	3.8%	1,280.0%	768.4%	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	3,946	127	118	28円53銭

3. 差異が生じた理由

売上については、印刷関連事業における首都圏・関西圏での印刷需要が伸張し想定を上回りました。利益については、売上が想定を上回ったことや修繕等の計画が第3四半期以降の発生になることなどにより営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回りました。これらに加え、固定資産や有価証券の売却により親会社株主に帰属する四半期純利益及び個別の四半期純利益についても前回発表予想を上回ることとなりました。

2023年3月期通期の連結業績予想及び個別予想につきましては、当初第2四半期までに想定していた費用が第3四半期以降に発生することや原材料価格の高騰及び電力料金などエネルギー価格の上昇、急激な円安進行等で資材等のコストアップも懸念されることから、2022年5月12日公表の通期の業績予想は据え置きと致します。

以上